



姉小路 まちづくり 通信

京の街角姉小路界隈より

平成二十二年十一月・第七号 姉小路のもてなしのご案内

1. 街なみ環境整備事業への感想を戴きました

姉小路界隈における街なみ環境整備事業は、事業実行期間10年間のうち8年目を迎えております。現在までに11件の物件が工事を完了、また1件が事業検討中です。今回は、2010年度に10番目の物件として工事が完了した「アトリエ・ピッコロ」の森田さんから感想を戴きました。

「よろしいな～。この古い町並みと伝統を大切に守り続ける脈々とした意気込み、日本の誇りです。私は35年前に日本で始めて京町家を活かしたファッショングの店を始めました。テレビを始め、メディアにも盛んに紹介していただきました。この町並みには新しい物と古い物とが溶け込めるのも面白いかぎりです。ますます大切に、ほんまもんを守っていきたいと思います。」

この様におっしゃって戴くと、我々としてもますます姉小路を誇らしく感じることができます。これからも頑張っていきたいと思ないので、どうか宜しくお願ひ致します。



森田博子邸・外観

2. 花と緑でもてなす姉小路界隈(京都おいしい街づくりと共同開催)

姉小路界隈では町式目の精神に則って、美しいおもてなしの通りの実現を目指しています。姉小路通のあちこちでは既に美しい花が咲いておりますが、今回はちょっと趣向を変えて「むらさき菜の花」通りの試作を皆様にご覧戴きたいと考えております。

ボランティア団体「京都おいしい街づくり」との共同で計画されたこの企画は、14日(日)の13時半から16時頃まで、冬季に花を咲かせ、また食べられる紅菜苔(こうさいたい)の植付けを行い、井上宅と久保田宅(姉小路通御幸町西入ル)の軒先を飾らせて頂くものです。当日は植え替えなどの手間のかかる作業がございますので、ぜひ皆様のご協力をお願い致します。



「京都おいしい街づくり」の企画案

3. 灯りでもてなす姉小路界隈のご案内

今年も13日(土)、14日(日)の両日、姉小路通(富小路～柳馬場間)を17時から20時まで歩行者専用にして、行灯を路側帯に飾ります。もともと京都では、地蔵盆の時期に行灯を灯す風習がありました。それを1997年7月に姉小路が復活させました。このことが現在、京都市の行っている花灯路の先駆けになったことを、我々としては誇りに思っております。

また残念ながら現在では、地域の業務や居住と直接関係のない、混雑回避や単なる走行時間短縮のための迂回路としての自動車乗入れが頻発しております。特に日曜日や休日にこの傾向が強いので、せめて休日の午後だけでも歩行者を主体とした道路の使用、都市空間の価値向上を考えることが大切だと思います。

自動車が通行止になる静かなひとときを味わいながら、安心で安全な姉小路通の実現にむけて、より多くの方々からご意見をお寄せ頂きたいと考えております。この灯りが人の心を結び、人が中心のみちづくりに繋がっていくことを願っております。



灯りでもてなす姉小路界隈